

進路ニュース

平成25年9月5日

鳥取県立白兔養護学校

進路担当

平成25年度 第4号

夏休みが終わり2学期が始まりました。児童生徒の元気いっぱいの声が学校に響きわたっています。今回は、夏休み休業中の職員研修として行われた、人権教育研修会や進路研修会、わくわく職場見学についてお知らせします。

講演会雑感

8月2日(金)に社会福祉法人あおぞら共生会副理事長の明石洋子さんを講師に迎え、「共生：誰もがあたり前に働ける社会をめざして」と題して校内教職員人権教育研修会講演会をしました。保護者への参加を呼びかけたところ、14名の方の参加がありました。

自閉症の御長男を育てていく中で芽生えてきた共生の想いと共生に向けた実践を、具体的な例を交えながらユーモアたっぷりに話されました。幼少期から生活のあらゆる場面に「選ぶ」ことを組み入れていくことが「自己選択・自己決定できる力」を身につけることにつながり、それが将来の「働く人に育つ」必要な力であることを、改めて考えさせられました。

テレビで紹介された明石さんの前向きな姿勢や御長男の働く様子をDVDで視聴する中で、障がいがあっても生き生きと働ける社会の素晴らしさを見ることができました。誰もがあたり前に働ける社会に向けた進路指導を充実させていくことを強く感じた2時間でした。

(文責：武林 淳)



「しらはま」ってどんなところ？

8月7日(水)に校内進路研修会がありました。地域支援総合センターから4名の方が来校され、「障害者支援センターしらはま」「障害者就業・生活支援センターしらはま」「しらはまホーム」の概要について詳しく説明を聞きました。

本校を卒業した生徒の多くが、地域支援総合センターの方にお世話になっています。居住地に関係なく、一般就労をした生徒たちが仕事や生活面でのお世話になるのが「障害者就業・生活支援センターしらはま」。(ナカポツとも呼ばれます)鳥取市の方に相談支援や情報提供を行う「障害者支援センターしらはま」。グループホームやケアホームを利用したい(利用している)生徒がお世話になる「しらはまホーム」。一口に「しらはま」と言ってもそれぞれに特徴があり、それぞれの職務内容の違いを学ぶとともに、在学中から連携していくことの大切さを改めて感じました。また、卒業後の生活を見据えて、自立した活動を増やす、支援の手立てを整理する、本人に合ったサービスの見極めなど、児童生徒に付けていきたい力や私たちのすべきことを再確認できた研修でした。(文責：山根孝子)

わくわく職場見学

8月9日（金）に小・中・高等部、訪問学級の全職員が3つのコースに分かれて、下記の目的のもと職場見学を行いました。

（目的）

- ・教員が企業等の施設見学及び作業体験、概況把握を行い、そこで得た情報をもとに小中高一貫した進路指導に生かしたり、授業づくりに役立てたりする。
- ・民間企業や施設等の現実に学び、企業の方と人間関係を構築し、進路指導・就労支援のための力量を高める。



和貴の郷

当日は、施設の概要や作業の内容の説明を聞いたり、実際に働いておられる様子を見学したりすることで、各施設の現在の様子を肌で感じることができました。施設の方の話や、働く姿を見たりすることで生徒の卒業後の働き方、支援の仕方を学びました。今後の学習、就労支援につなげていきたいと思います。また、B・Cコースでは本年度開校した鳥取県立琴の浦高等特別支援学校を訪れ、カリキュラムの説明を受けたり学校施設を見学したりしました。作業室、実習室等の施設設備も新しく充実していました。

（文責：塚田政志）

<見学先>

A コース	B コース	C コース
1 NP0 法人就労支援センター 和貴の郷	1 琴の浦高等特別支援学校	1 琴の浦高等特別支援学校
2 株式会社HRD i D E A L	2 鹿野第二かちみ園 (知的障害者更生施設)	2 センコースクールファーム鳥取 (特定子会社)
3 障害者デイサービスセンター さわやか	3 すずかけ (就労移行・B型)	
4 社会福祉法人砂丘福祉会 砂丘福祉作業所		



県立琴の浦高等特別支援学校



センコースクールファーム鳥取